

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

ベトレヘムの風

発行：ベトレヘムの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会
住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.com>



No.107

『朝顔につるべとられてもらい水』 院長 青木 信彦



このところ明らかに増えたのは犬の散歩でしょう（とくにトイプードルが多いようです）。

分かるような気もしますが、やはり犬ですので可愛さは姫ウズラにはかないません。

毎日、姫ウズラと生活するうちに鳥の言葉が理解できるようになったのです。

そのような鳥観察の成果なのでしょうが、運命ともいえるべき現実には遭遇しました。

我が家の小さな庭の軒下にヒヨドリが巣を作り始めていたのです。この季節の我が家の庭は、伸び放題になっているバラの枝がジャングル状態になっています。このような環境は鳥が巣を作って子育てをするのに適しているのです。鳥の巣作りと子育てにとって最悪の天敵となるのはネコとカラスですが、バラの枝の空間はネコもカラスも侵入しにくいので、この庭は安全なのです。

6月下旬の炎天下、ヒヨドリが巣作り～子育てで大忙しでした。居間から雨戸を開けると、ヒヨドリの巣は目と鼻の先になっていました。この暑い日中、ヒヨドリは口をハーハー開けて卵を温めているのです。数日後、そっと戸を開けたところ、この親ヒヨドリと目が会ってしまいました。ヒヨドリは逃げる様子もなく、卵を温めながらこちらをイカクするのです。

考えてみたら、せっかく我が家の庭で子育てをしてくれるのも何かの縁です。お邪魔にならないようにすることにしました。基本的には、私とカミさんは極力、庭には出ないこと、そして庭の水まきもヒヨドリの子育てが無事に済むまでお休みとしました。

そんなところでふと思い出した俳句

～朝顔に 釣瓶（つるべ）とられて もらひ水～

作者は千代女（江戸時代の女流俳人）

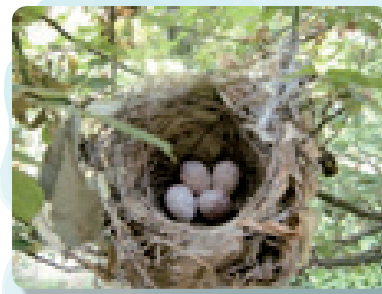
【訳】夏の朝、井戸へ水汲みに行ったところ、朝顔がオケのつるべまでのびていた。せっかくの風情なのでそのままにして、水は近所から分けてもらった。



昔から日本人は自然への思いやりが深いんですね。

ところで、ヒヨドリの子育てを邪魔しないように、とは思いつつも、やはり気になります。

親鳥のいないのを見計らっては、盗撮してしまいました。



トゲのバラの枝に作られた巣の中には、4個のヒヨドリの卵



元気に4羽とも誕生
（まだ目は開かないけれど、口だけは大きく開けている）

生まれて12日目に全員、無事に巣だてて行きました。

～家主にはなんの挨拶もなく～

我が家のちょっとした 自慢(おすすめ)・マイブーム

我が家のちょっとしたブームは、ちょっと高級なアボカドを食べることです。

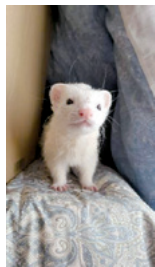
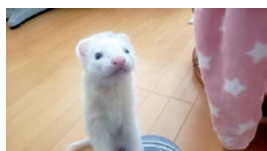
今までは、98円のアボカドしか食べたことがなかったですが、ある時少し高めのアボカドを食べたらクリーミーでおいしく時々食べています。

何故ちょっと高級なのかと言うと、デパートで売っているような高級なアボカドは高すぎて庶民の私には買えないからです。

看護師 安達 美香子

5人目の家族はアメリカ生まれ

生後2か月で我が家の一員となって3年。フェレットはおっとりした動物だと思っていましたがとんでもない！部屋中を走り回り手当たり次第に噛みつく！ペットショップ店員さんの「この子は元気ですね」の言葉が後になってよくわかりました。今では噛むことも減り、膝に乗って餌を欲しがります。我が家No.1の癒し系です。



介護福祉士 新津 敬志

今年から、脳の活性化のために箸と文字を左手で使う練習をしています。箸は魚をほぐすのが難しく、上手いかない時は奥の手(右手)を使います。文字は、人目に角が出る時は右手で書いてましたが、先日書店で本の取り寄せを頼んだ際、左手で名前、住所、電話番号を書いてみました。店員さんに口頭で電話番号を確認されました。…この原稿も左手で書いてみましたが、判読できない場合、遠慮なく聞いて下さい。

介護福祉士 國井 勲

外で飲む機会も皆無となった私の行きついた先はNetflixでの韓国ドラマ行脚です。一步その世界に足を踏み入れるとあっという間に虜になってしまいました。韓国ドラマの中には度々、飲食シーンが登場し、どれも美味しそうで最近韓国料理とチャミスルやマッコリで、自宅で韓国旅行気分を楽しんでいます！カムサハムニダ〜！

理学療法士 宮田 あゆみ



真ん中のサボテンの脇にいっぱいいる小さなサボテンたち。かわいいでしょ〜。

これ、子株じゃないんです、すべて実生(種から発芽したもの)なんです。

ある時、花の根元が膨らんで種ができたので鉢に置いた(放置ともいう)ところ、気がついたらこんなことに。

ゆっくり、でも着実に大きくなる姿に癒されています。

臨床検査技師 大谷 佐江子



今年の1月から女子専用ジムに行きはじめて、ヨガやピラティスをするようになりました。ヨガとピラティスの違いは、ヨガは呼吸法・瞑想で心と体を結びつけ心身が最も安定した状態をつくるのが目的、ピラティスは根本がリハビリ用として生まれたもの、身体に負担をかけずに強くしなやかな筋肉をつけることが目的、呼吸法もヨガは複式、ピラティスは胸式など、自分の身体でやってみるとこれが中々難しい…。でも、休みの日の朝からピラティスやヨガをすると身体がスッキリします。体のメンテナンスは大事だと痛感しています。

職員の皆様、健康寿命を延ばしベトレヘムで長く働ける身体を作っていきましょう!!

事務員 河野 妃登美

自粛と緊急事態宣言の繰り返しの中で生活スタイルが一変してしまいましたが皆様いかがお過ごしですか。

自慢やマイブーム等とは程遠いですが、しいて言うならば外で過ごす時間を意識するようになり、仕事が終わる早く帰れる時は子供達と家から少し離れた大きな公園まで足を延ばしたりするようにしています。

コロナ前の様にとは望みませんが、自由のある生活を楽しめる日が早く来てくれればと思います。

薬剤師 平澤 佑実彦



電子カルテ導入6ヶ月目を迎えて(前号のつづき)



初めて電子カルテに触れてから5代目になります。各社統一性がなくて困りますが、現行では患者に依存しない自分用todoリストとメールが重宝しています。タブ機能も便利なので活用するよう努めています。

(診療部長 岡田 隆晴)

電カルワゴンを病室に持ち込んでの作業(情報収集・記録)ができる為、ベッドサイドにいる時間が増え、異常の覚知が早くなった場面もある。

(看護師 高橋 公子)

私は電子カルテを操作する仕事はしていないのですが、足掛け3年、本当に多くの部門の多くの皆さんが、常に前向きに歩んで来られたのを間近に見てきました。その努力の成果が今に生きていると思います。

(事務部長 菊池 誠)

永年勤続表彰 受賞者よろこびの声

勤続20年表彰 2名

病院の庭は木や季節ごとの花が咲き時々ナザレットの子供たちが遊びに来て手を振ってくれることもあります。うれしくなります。

今も庭を眺めながら仕事をしています。

看護師 大森 幸江

勤続20年いろんな事がありましたが、まわりの人達に助けられ、励まされ、患者様の笑顔を見ては勇気付けられてここまでこれたと思います。

本当にありがたく感謝でいっぱいです。これからもよろしくお願いします。

介護福祉士 宮澤 典子

勤続10年表彰 4名

今回、勤続10年ということで永年勤続表彰を受賞させていただきました。

新卒で入職し、一度は退職しましたが、ご縁があり、再び入職させてもらうことが出来ました。今度は20年目指して頑張ります。

介護福祉士 岩川 祥平

この度は10年表彰をいただき、誠に有難うございます。この10年を振り返る良い機会となりました。「慈生会の誓い」を念頭に微力ながらもお役に立つ事ができれば幸いです。

介護福祉士 山口 則子

コロナ禍という大変な時期に表彰をいただき感謝しています。今後も栄養科の一員として、病院や患者の為に貢献して行きたいと思います。

有難うございました。

栄養士 湖屋 潔

2011年2月に入職してすぐに震災があり、その後も本当に色々なことがありました、つらいこともありましたが、創立者の遺志を心に10年を迎えられたことに感謝したいです。

事務員 須田 加矢子



ひふの話

その
59

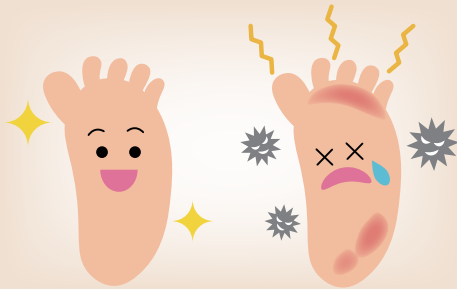
市川 雅子(皮膚科医師)

水虫

新型コロナの流行が始まって2度目の梅雨が来ました。しかし、いまだ流行は収まらず、変異型感染が増加し、ワクチンの供給にも問題がでたり、となかなか心休まる日が来ません。コロナ対応最前線の医師からは「第5波は近いうちに必ず来る」と強い警戒感を持っているという話も聞きました。私たちができることは、手洗いやマスクなどの基本的な対策を、ワクチン接種が済んだとしても注意を怠らず、引き続き行っていくことです。

前置きが長くなりましたが、今回は「水虫」のお話です。「水虫」といっても虫ではなく白癬菌というカビです。これが皮膚の表面に入り込んで、ジクジク・ガサガサしたり水疱を作ったりします。爪に入ると白く厚くもろい爪になってきます。しかし体の中に入ることはありません。白癬菌は皮膚についただけでは感染しません。暖かくて湿った状態が半日以上続くと感染が成立します。つまり、感染する前に菌を皮膚から落としてしまえばいいのです。アルコールなどの消毒液や、ハンドソープなどに入っている殺菌

剤は効きません。普通の水道水で、普通の固形石鹸で洗えば十分です。また、お風呂の足ふきマットやトイレの共有スリッパは感染源になるので、家族の中に患者さんがいる場合は別々にしたほうが良いでしょう。公衆浴場やプールでは、お湯や水の中では感染しませんが、足ふきマットや更衣室は要注意です。治療の基本は抗真菌剤の塗り薬です(真菌=カビ)。場合によっては飲み薬も使います。塗り薬は、症状があるところだけではなく広めにぬること、症状が消えてもしばらく塗り続けることが重要です。足の場合は爪や指、指の間、そして足の裏全体に塗ります。もし薬でかぶれる時は塗るのを中止し早めに受診して下さい。水虫はいったん感染すると自然治癒はありません。冬に良くなったように見えても、菌は角質層内で生き残り、蒸し暑い季節になるとまたひどくなるのです。根気よく治療を続けて下さい。



令和2年度 決算報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業収支計算書 (単位:千円)

収益の部		費用の部	
医療事業収益	912,588	人件費	675,040
		事業費・事業費ほか	169,287
経常経費寄付金収益	745	減価償却費	37,759
サービス活動外収益	14,256	サービス活動外費用	8,066
特別収益	4,969	特別損失	29,730
〈収益合計〉	932,558	〈費用合計〉	919,882
		〈当期損益〉	12,676

資金収支計算書 (単位:千円)

収益の部		費用の部	
医療事業収入	912,588	人件費支出	656,357
その他収入	15,000	事業費・事業費支出ほか	177,295
施設整備等収入	1,988	施設整備等支出	30,475
その他の活動収入	7,512	その他の活動支出	45,872
〈収入合計〉	937,088	〈支出合計〉	909,999
		〈当期収支差額〉	27,089

【コメント】

- ①コロナ流行の逆風下で地域医療における後方支援病院としての役割を全うし、常に安定した病床運営を維持して参りました。
- ②厳しい時期だからこそ、人材の充実と育成に力を注ぎました。電子カルテシステムも無事稼働し、院内のICT化が進展しました。
- ③事業収支、資金収支とも安定的な黒字を確保しました。コロナ禍においてオールベトレヘムの底力を実感できた1年でした。

編集後記

「ベトレヘムの風」の創刊は2004年5月の日本医療機能評価を受審するのに先駆けて、2004年(平成16年)1月15日に発行された広報紙です。私が編集に携わるようになったのは第9号からです。今号の第107号までの98回、編集の仕事が続けられたことを思うと感慨深いものがあります。病棟の掲示板に貼ってあった第9号を見たある患者様の家族が「もっと見ごたえのあるものを創りませんか、お手伝いしましょう」と声をかけていただいたことがきっかけ

で、第10号から今日まで、お付き合いいただいているのです。奇数月の15日、年6回の発行はトロア企画株式会社様の強力なご支援があつてのこと、大変ながらも充実感を味わっていました。編集会議から発行まで、辛い遅れることなく、コロナ禍でも休刊もせず、こつこつとこれから先も読者の皆様が楽しみに待っていてくださる「ベトレヘムの風」となっていけますように。(Jk.T)